

令和7年度 丸山晚霞記念館運営委員会

会議次第

日時：令和8年2月24日（火）

午後2時から

場所：東御市文化会館 2階 第二会議室

1 開会

2 市長あいさつ

3 会長あいさつ

4 諮問

5 報告事項

(1) 令和7年度運営状況について (P2～P7)

6 審議事項

(1) 令和7年度取得作品（案）について (P8～P13)

(2) 令和8年度事業計画（案）について (P17～P18)

7 答申

8 その他

9 閉会

## (1) 令和7年度運営状況について

## 事業総括表

月	常設展	企画展
4	常設展1 水彩の明星 4月1日～6月29日	
5		
6		
7	常設展2 水彩の明星2 7月5日～10月5日	
8		
9		
10		明治の彩り展 水彩画全盛時代とその前夜 10月25日～12月14日
11		
12		
1	水彩の明星3 丸山晚霞 (1月6日～3月29日)	
2		
3		

① 展示

ア 常設展

期間	展覧会名	概要	観覧者 (人)	開催 日数 (日)	一日 平均 (人)
4月1日 ～ 6月29日	水彩の明星1	春から夏にかけての風景画を展示。	210	70	3.00
7月5日 ～ 10月5日	水彩の明星2	夏から秋にかけての風景画を展示。	240	78	3.08
1月6日 ～ 3月29日	水彩の明星 丸 山晚霞	丸山晚霞、吉田遠志、武井清	42	23	1.83

イ 企画展

期間	展覧会名	概要	観覧者 (人)	開催 日数 (日)	一日 平均 (人)	収入 (円)
10月25日 ～ 12月14日	明治の彩り 水彩画全盛時代 とその前夜	郡山市美、個人コレクションから、アルフレッド・パーソンズら英国画家と丸山晚霞ら日本人画家で83点	1,384	45	30.76	802,300

開催日	企画名	概要	参加者 (人)
11月1日	ギャラリートーク	明治期の水彩画全盛時代にいたる経緯など解説	10
11月22日	背景美術実演、講演 コンサート	スタジオジブリ美術監督・武重洋二氏による背景美術の講演と実演、展覧会展示作品にちなんだコンサート	280
11月23日	雲を描こう！	武重洋二氏による、アニメーション背景美術の手法で雲を描くワークショップ	16
11月30日	水彩入門。塗り絵、絵葉書	白日会会員・高柳剛士氏による水彩画入門ワークショップ	14

ウ 年間入館料・入館者数実績

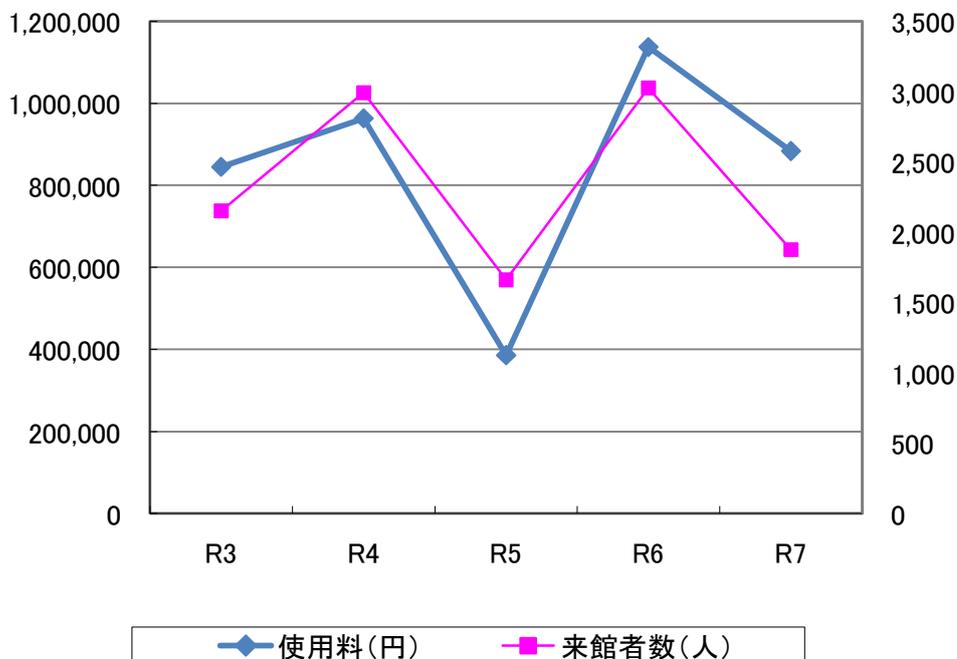
入館者数・入館料

R 7	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数 (日)	27	22	25	22	27	24	11	26	13	23			220
入館者数 (人)	61	56	93	59	78	95	137	847	408	42			1,876
入館料 (円)	10,800	10,200	16,450	9,200	14,100	11,400	47,100	607,400	148,600	8,400			883,650

過去5年間の推移

区 分	R3	R4	R5	R6	R7	前年比	
開館日数 (日)	194	198	206	210	220	104.8%	
来館者数 (人)	2,151	2,992	1,661	3,026	1,876	62.0%	
(内訳)	一般 (個人)	1,833	2,076	969	2,381	1,452	61.0%
	一般 (団体等)	0	62	89	17	52	305.9%
	小中学生	43	258	305	155	95	61.3%
	障がい者等	69	94	36	149	97	65.1%
	無料券等	206	502	262	324	180	55.6%
使用料 (円)	844,900	963,550	386,150	1,137,150	883,650	77.7%	

過去5年間の来館者数・使用料の推移



## ② 図録等販売事業

### ア 図録

	名称	金額	販売数	売上
1	美しき明治のみずゑ	1,500	45	67,500
2	歴史が見落とした画家 吉田ふじを展	1,500	4	6,000
3	雷電と江戸時代展	1,500	6	9,000
4	水彩の明星	1,500	21	31,500
5	人生を変えた絶景	1,500	9	13,500
6	高橋節・高橋久美子 人形展	1,000	1	1,000
7	吉田遠志展	2,000	18	36,000
8	明治の彩り展	1,500	138	207,000

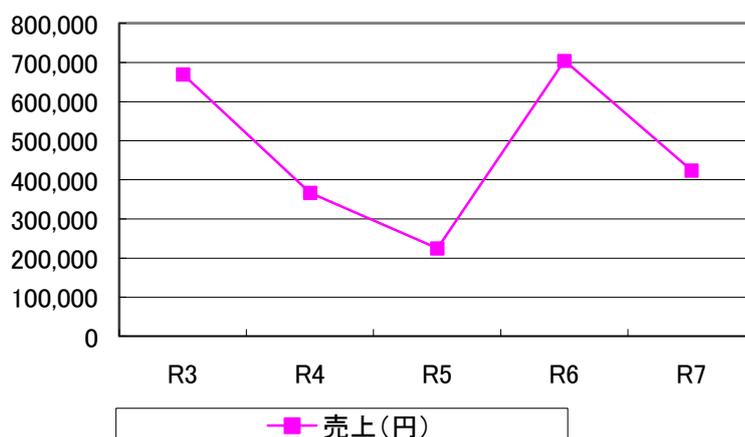
### イ 絵はがき

名称	金額	販売数	売上
絵はがき	100	494	49,400

### ウ 5か年推移

区分	R3	R4	R5	R6	R7	前年比	
開館日数(日)	194	198	206	210	220	104.8%	
売上(円)	669,400	366,415	224,700	704,090	423,480	60.1%	
(内訳)	図録	568,500	307,500	91,000	656,890	371,500	56.6%
	絵はがき	100,900	58,600	29,200	29,200	49,400	169.2%
	販売手数料	28,113	315	770	18,000	2,580	14.3%

過去5年間の売上の推移



### ③ 普及活動事業

#### ア 教育普及事業

No.	日付	内容	学校名等	場所	人数
1	7月8日	夏色ショータイム (Tシャツづくり)	北小1年生	北小	18
2	9月11日	卒業制作 (水彩画) 指導	柵津小6年生	柵津小	44
3	9月18日	鑑賞及び丸山晚霞学習	柵津小2年生	当館	35
4	9月19日	卒業制作 (水彩画) 指導	柵津小6年生	柵津小	44
5	9月24日	ガラスペイント	北小さくら組	当館	9
6	9月30日	卒業制作 (水彩画) 指導	柵津小6年生	柵津小	44
7	10月10日	卒業制作 (水彩画) 指導	柵津小6年生	柵津小	44
8	10月27日	ペタペタ版画	北小さくら組	北小	9
9	11月7日	アイマスク鑑賞	北小5年生	北小	36
10	11月10日	紙コップ30000個	北小1年生、保護者	北小	30
11	11月13日	紙コップ30000個	北小3, 4年生	北小	60
12	11月26日	ペタペタ版画	柵津小2年生	柵津小	35
13	12月1日	展覧会鑑賞	滋野小3年生	当館	25
14	12月3日	クリスマスカード作り	北小2年生	北小	28
15	12月4日	ペタペタ版画ロール紙バージョン	柵津保育園年長	柵津保育園	29
16	12月5日	柵津せんべい	柵津小2年生	柵津小学校	35
17	12月9日	ペタペタ版画ロール紙バージョン	北御牧保育園年長	北御牧保育園	20
18	12月10日	ペタペタ版画	北小1年生	北小	18
				合計	563

#### イ 地域普及事業、企画展プログラム、研修

No.	日付	内容	場所	人数	
1	7月26日	ペタペタ版画	さんらいずほーる	15	
2	9月27日	スケッチ大会&アートチャレンジ	芸術むら公園	210	
3	11月1日	明治の彩り展ギャラリートーク	当館	10	
4	11月22日	背景美術実演、講演、コンサート	当館	280	
5	11月23日	背景美術ワークショップ	当館	16	
6	11月30日	水彩入門ワークショップ	当館	14	
7	1月24日	どんどこ巨大紙相撲大会ワークショップ	中央公民館	300	
8	1月25日	どんどこ巨大紙相撲大会ワークショップ	中央公民館		
9	2月21日	どんどこ巨大紙相撲大会千秋楽	東御市文化会館	300	
				合計	1145

④ その他

ア 収蔵品の貸出実績について

期間	作家名	貸出先	行事等名	点数
10/6~10/ 19	丸山晚霞	八十二文化財団	郷愁の画家 丸山晚霞展	43

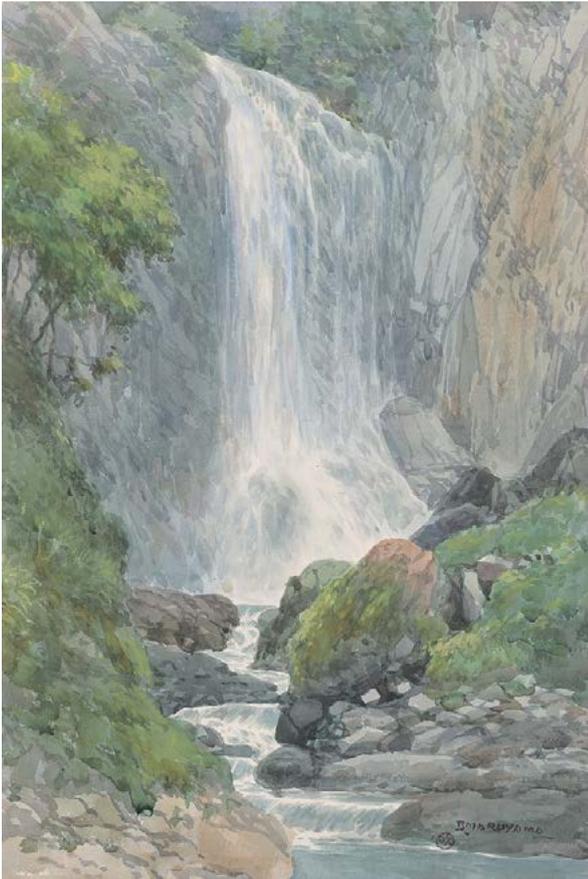
イ 博物館実習生の受け入れ

清泉大学教育学部より1名

9月27日、10月20日～24日 計6日間

(1)令和7年度新規取得作品について(案)

No.	作者	作品名	制作年	技法、材質	サイズ
1	丸山晚霞	苗名滝	1905年以降	水彩、紙	49.5*33.0



新潟県妙高市の苗名滝を描いた作品。善光寺門前にあった文具店「松花堂」店主の穂刈氏が旧蔵。穂刈氏が入院中、娘である所蔵者が看病したことへの感謝の印として譲渡された。「松花堂」は当時県内で唯一輸入絵具を扱っていたため丸山晚霞がよく訪れ、穂刈氏は支援者の一人であった。所蔵者の兄、穂刈公氏宅にも当時先代が入手した丸山晚霞作品が多く残っている。

本作は、平成25年開催の「水彩画家丸山晚霞展」に出展。今回は、所蔵者が高齢となり後継者もないことから寄贈申し出があった。

No.	作者	作品名	制作年	技法、材質	サイズ
2	丸山晚霞	鹿のいる風景	1905年以降	水彩、紙	34.5*51.0



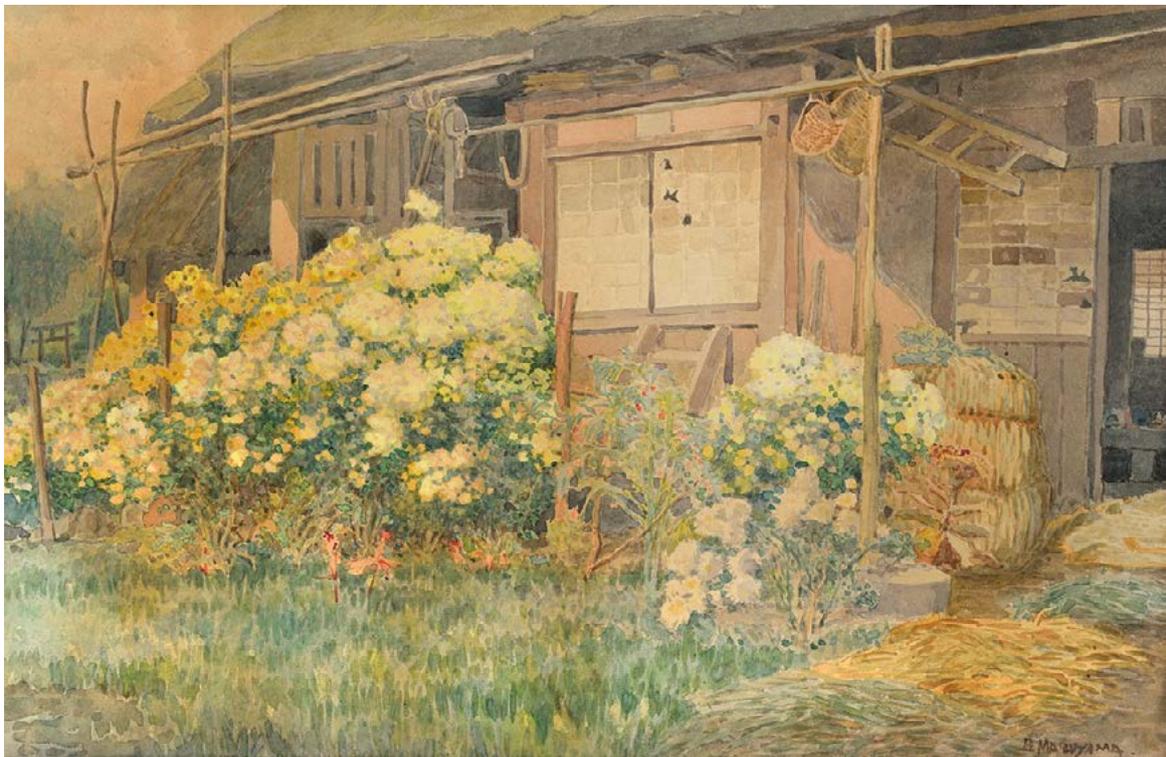
寄贈の経緯及び当館出展履歴は、1と同じ。

No.	作者	作品名	制作年	技法、材質	サイズ
3	丸山晚霞	千葉	1900年以前	水彩、紙	31.0*56.8



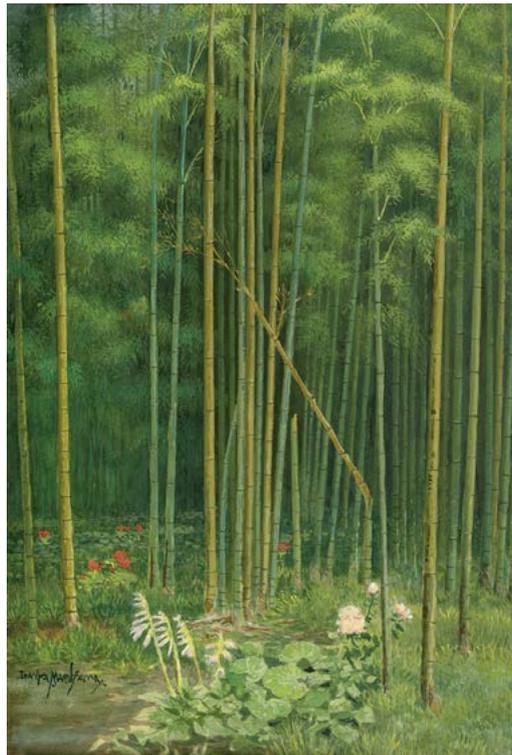
令和7年度企画展「明治の彩り展」出展作品。所蔵の田中氏より会期終了後、寄贈の申し出を受ける。田中コレクションはすべて海外の市場にあった作品を購入し、日本に里帰りしたもの。サインにはまだ○晩がなく、取材地のCHIBAが書かれていることなど、渡米前の作品の特徴と一致している。渡米時の記録にはCHIBAという作品は見当たらないため、横浜で土産絵をして販売されたものかも知れない。

No.	作者	作品名	制作年	技法、材質	サイズ
4	丸山晚霞	菊と農家	1900年以前	水彩、紙	32.7*49.0



寄贈経緯は3に同じ。農家の軒先に咲く、おそらく菊を描いたもの。

No.	作者	作品名	制作年	技法、材質	サイズ
5	丸山晚霞	竹林	1900年以前	水彩、紙	51.7*35.0



寄贈経緯は3に同じ。竹林は盟友・河合新蔵の得意とする画題であったが、丸山晚霞も見事な表現をしている。手前に置かれた露の葉や緑の巧みな色彩表現は、丸山晚霞の特徴をよく表している。裏に Price30 とあり販売価格 30 ドルを意味するが、取消線があり 25 と修正されていることから、実売は 25 ドルだったと推定される。渡米時のカタログ内のどの作品かは判別できなかった。

No.	作者	作品名	制作年	技法、材質	サイズ
6	丸山晚霞	松島	大正期か	紙本着彩	本紙 138*34



仙台在住の寄贈者の母親の旧蔵。

No.	作者	作品名	制作年	技法、材質	サイズ
7	吉田 博	雨の街道	不詳	水彩、紙	27.2*38.0



寄贈経緯は3に同じ。灼けが著しく、褪色も進んでいる状態であるが、吉田の初期作品として資料価値は高い。

No.	作者	作品名	制作年	技法、材質	サイズ
8	吉田 博	橋と竹林	1899年以前	水彩、紙	33.3*50.5



寄贈経緯は3に同じ。本作は、1900年にボストン美術館で開催された中川八郎との二人展に出展され売却されたもの。裏に043の番号があり、これが当時の販売カタログと一致。英題では Bridge in Bamboo Grove, Near Tokyo. 20ドルで売却となっている。

No.	作者	作品名	制作年	技法、材質	サイズ
9	大下藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	14.3*20.6



寄贈経緯は3に同じ。小品ながら樹木のかすれた感じの表現など、イギリスの水彩画家、特にアルフレッド・パーソンズからの影響が垣間見える。

No.	作者	作品名	制作年	技法、材質	サイズ
10	中川八郎	漁港風景	1899年以前	水彩、紙	26.8*38.0



寄贈経緯は3に同じ。本作は、1899年渡米時に日本から携行され、1901年、プロヴィデンスで開催された日本人画家6人展の際に売却されたものと思われる。中川八郎は愛媛出身で、こよなく瀬戸内海の風景を描いており、本作は小豆島ではないかと推測される。裏面には Providence art club の所蔵を示すステッカーが貼られている。

No.	作者	作品名	制作年	技法、材質	サイズ
11	小澤一郎	風景	1904年	水彩、紙	39.0*56.3



小澤の父は、幕末に来日した報道画家、チャールズ・ワーグマンである。日本人女性の小澤カネの間に生まれた一郎は、別名ワーグマン・Jrとも言われる。父親から手ほどきを受け、日本各地の風景を淡いタッチの水彩で見事に表現したが、画壇に属さずもっぱら土産絵を描いていたため、美術史の中では忘却された存在。梅野記念絵画館にも一点《潮来》がある。

## 新規収蔵品へのコメント

### 林委員

#### 1、2：

穂刈氏旧蔵の水彩画。明治後期（おそらくは38～45年頃）と思われる、水彩画全盛期に描かれた晚霞の代表作。

#### 3～5：

明治33年の渡米に際して展示した、いわゆる「里帰り」品。明治30～33年の制作。米国人コレクターのもとでながら鑑賞されてきた作品。

6：大正期以降と思われる日本画。取材地（松島）が明らかな日本画は少なく、貴重。

#### 7～11：

3～5と同時期に描かれた大家による水彩画。同時代の画家の優品がコレクションに加わる意義は非常に大きい。

総じて、いずれも優品揃いで、丸山晚霞記念館の収蔵品として申し分のない作品である。

### 滝澤委員

①現在では車で観瀑可能な苗名滝であるが、当時は山岳行に準じた秘瀑であり、晚霞ならではの画題といえよう。確かに○晩サインにより初期作とは言えないが、水や岩、草木、なによりも落水の表現、湧水期の繊細な線と飛沫が丁寧に描かれ、高い完成度を見せている秀作である。

②抒情的で幻想的、ロマンティックな創作性を感じさせる作品。日本的な湿度の高い風景ともいえようが、源流の英国水彩画、或いはさらに遡ったターナーなどを想起させる、中々の意欲作として評価することも出来るかもしれない。

③貴重な初期作の一つ。五姓田一門を中心に、幕末から明治中期にかけて「横浜絵」と呼ばれた主に外国人向けに描かれた作品群に連なるものともいえよう。

沖の帆船、近景の和傘と風俗はその流れではあるが、晚霞はそれを単なる観光絵葉書として終わらせず、薄い曇天がまるで主役のように振る舞い、柔らかな光により画面全体を包んでいる。

④やはり○晩サイン以前の作品。晩年の高山植物山水とは異なり、満開の菊花も前景にも

かかわらず色彩も輪郭も控えめで、家屋とのバランスも素晴らしい。

左奥の小さな鳥居と家の裏戸の障子明かりへの、鑑賞者も気が付かない程の二点透視的構図に分けることにより、控えめな菊花群や鳳仙花らしき花たちが優しく浮かび上がる様子は、計算されたものとも言え、その隠された技巧性は評価されても良い。

⑤指摘されているように、渡米時に売却された作品。**Bamboo** は東洋的風景のアイコンとも言えるが、下草の丁寧な描写は、単なるオリエンタリズムを超えた作品としての品格を纏っている。

比較的明るい前景から鬱蒼とした竹林奥への視線の誘導と、折れた竹による変化の添加は、これがやはり単なる実景の風景描写ではなく、絵画的な構築がなされた「作品」であることを伝えており、画家として当然持っているべき作画のセンスを感じさせる。

⑥晚霞後半期に多い所謂日本画的な墨画淡彩作品。山水画とも真景図とも名所絵ともいえようが、縦長の軸装画面中に、前景からバランス良く三つの島々を配し、奥の遠景を墨画として暈す様は、一般購買者に安心感さえ与えるテクニカルなもの。

⑦晚霞を水彩画のみならず山岳画家の世界に誘った先駆者・吉田博の比較的初期の作品。

確かに灼けが進んでいるのは残念であるが、本来持っていたであろう繊細な空気感、湿度の高い雨後の雰囲気は、現状でも伺うことは出来る。

中央人物の番傘と霞むその先へと視線を誘う透視図法のお手本のような構図であるが、そうした作画意図を感じさせない抒情性と湿った空気が肌に感じられる程の表現力が、大きくはないこの作品に良作としての風格さえ与えている。

⑧渡米期の展覧会出品歴が明白な貴重な作品である。

⑤の晚霞作品と同じく竹林風景であるが、二人の画家の表現の違いが見て取れ、一層興味深い。

吉田博の観点は竹林自体ではなく、それを分かつ小さな谷である。人物が覗き込むことによって、暗い画面中の水面の僅かな輝きへと視線は導かれ、構図の中核に置かれた橋はその存在感を増す。竹林の切れた先には茜色の空が窺われ、それは人物像に加えられた時間的な描写となって、単なる風景画を超えた物語を想起させる効果を見せている。

⑨日本の水彩画のパイオニアでありながら、現存作の少ない大下藤次郎の僅品。

画面は雲間に青が覗く空。段丘の林と藁葺き屋根が中景。そして明るい田畑に三分割され、人物が配されている。背の荷物が重いのか、やや前傾姿勢であるが、そこに風俗画的要素はなく、あくまでも添景である。

興味深いのは、藁葺き屋根集落の庭先の一つから立ち上る焚き火の煙である。水彩画描

写のセオリーである「色を塗らず台紙の白を活かす」こと(空の雲はほぼそう表現されている)をせずに、白絵の具で塗り重ねられている。結果、その白は濁ることになるが、後から作画上の意図で重ねられたものか、「煙」であることの意識的な濁りを狙ったものか。いずれにせよ小品とはいえ、資料的存在ではなく、作品として鑑賞し得る佳作である。

## 6 審議事項

## (2) 令和8年度事業計画（案）について

## 事業総括表

月	常設展	企画展	普及事業
4	常設展1 水彩の明星 4月4日～6月28日	飯沢耕太郎賞受賞記念 サム・プリチャード展 (文化会館展示室)	
5			
6			
7	常設展2 水彩の明星2 7月4日～10月4日		
8			
9			スケッチ大会&アートチャレンジ
10		吉田博、吉田遠志展 10月24日～12月6日	
11			イベント、ワークショップ
12			
1	常設展3 水彩の明星3 1月5日～3月28日		どんどこ！巨大紙相撲大会WS
2			どんどこ！巨大紙相撲大会
3			

## 企画展について

- 1 名称 「吉田博、吉田遠志、吉田司 親子3代木版画展」(仮称)
- 2 会期 令和8年10月24日(土)～令和8年12月6日(日) (予定)
- 3 場所 丸山晚霞記念館、東御市文化会館展示室
- 4 主催 東御市 丸山晚霞記念館
- 5 協力 吉田家
- 6 入館料 一般(高校生以上)500円
- 7 概要 新版画における吉田家三代にわたる伝統木版画の系譜を照会する。

## 普及活動について

- ① 小学校や中学校における教育普及
  - ・ Tシャツづくり(北御牧小学校)
  - ・ 卒業制作(水彩画)指導(祢津小学校)
  - ・ 紙コップWS(希望校)
  - ・ 対話鑑賞(市内全小中学校)
  - ・ 祢津せんべい作り(祢津小学校)
  - ・ 版画ワークショップ(北御牧小学校)
  - ・ 特別支援学級の子どもの対象としたアート授業(北御牧小学校)
  - ・ 社会福祉協議会子どもの居場所づくり事業との連携(くるmeここから)
- ② 地域における普及
  - ・ スケッチ大会&アートチャレンジ
  - ・ どんどこ!巨大紙相撲大会
  - ・ 祢津せんべい普及活動(各種催事等への出店)
  - ・ 保育園へのアウトリーチ(遊びを通じたアート活動を想定)